

# 九州各県連名で生保の夏季加算を国に要望

日本共産党大分県委員会と地方議員団は25日、2019年度の県予算に関して、2日に知事あてに提出していた227項目の県民要望について、県の各部局と意見交換。これには大谷、日隈両市議も参加しました。

福祉保健部の57項目の中で、生活保護世帯のエアコン設置を国が条件付きで一部見直しましたが、日田市では新たに設置できたのは4世帯で極めて不十分です。

大谷市議は生活保護世帯でエアコンがないので救急搬送された例を示し、故障して使えない場合なども設置費の支給について要望しました。担当者は「国も実状について認識しているようだ。今回は少し踏み込んではないと思う。皆さんの声は届ける」と述べました。また酷暑の夏、エアコンを



使用する電気代などの夏季加算の支給については「大分県が九州各県の生健会、その他の団体の要望状況を聞き、国に夏季加算の制度創設の要望書を発案して、長崎で開催される生活保護担当者のブロック会議で九州各県連名で国に要望することにした」と述べました。

国保税の引き下げに県として財政支援を求めましたが「国が1700億円増やしたがこれでは解決しないので、県は毎年国に国庫負担率の引き上げを要望している」と述べただけでした。市町村の一般会計からの繰入については「だめだよ」とは言っていない。市町村の判断」と答弁。各自自治体の基金が増加しているのが、大谷市議は県として「負担軽減に活用するよう指導せよ」と要求した。

# 大分県赤旗まつり開催



講演する山下芳生氏

第19回の大分県赤旗まつりが28日大分市内で開催され、山下芳生党副委員長（参議院議員）、真島省三前衆議院議員も駆けつけ、来年の参議院選挙、一斉地方選の勝利を目指す決起の場となりました。

## 野党共闘の成功と共産党の躍進を

山下氏は、沖縄県知事選挙が市民と野党の共闘に大きな希望を与え、大義の旗を掲げれば、どんな強権も跳ね返すことを教えてくれたと述べ「今度は私たちが沖縄のように戦おう」と呼びかけました。

また山下氏は9条改憲、消費税10%増税など安倍政治の一つひとつにはつきりとした対決軸と大義の旗を掲げる党の値打ち、9条を生かした平和外交、消費税に頼らない経済政策を力説した。

本気の野党共闘で与野党逆転し安倍政権を終わらせよう」と力を込めました。来年4月の一斉地方選の予定候補者を代表し、堤栄三県議、えんど久子氏が決意表明をしました。大谷、日隈両市議と日田市後援会はバスなどで参加しました。



壇上に並ぶ4月の地方選予定候補者